

4-2 再編方針

4-2-1 市民文化系施設

(1) 集会施設（近隣センター，自治会館等）

方向性

- 豊四季台近隣センターについては、豊四季台団地建替えに伴うUR都市機構の面整備にあわせて、新たな場所に『移転＋複合化（建替）＋廃止（既存施設）』を行う。なお、複合化の対象施設については、図書館豊四季台分館，豊四季台児童センター，豊四季台老人いこいの家を想定する。
- 田中近隣センター（体育室含む），柏ビレジ近隣センター，北部近隣センター（体育室含む）については、立地適正化計画を踏まえた適地への移転も視野に入れ、『集約化（建替）』を行う。また、柏ビレジ近隣センター（テニスコートは除く）は『廃止（既存施設）』をし、北部近隣センター（体育室含む）は『転用』する。なお、柏ビレジ近隣センターのテニスコートについては、スポーツ施設に『転用』し、既存建物は『除却』の上、管理棟とトイレを『新設』する。
- 西原近隣センターについては、施設規模に比べて駐車場が狭隘であることから、利用者の利便性と利用率の向上を図るため、『移転＋建替＋廃止（既存施設）』を行う。
- 布施近隣センター，根戸近隣センター（体育室含む）については、本市のまちづくりを踏まえた適地への移転も視野に入れ、『集約化（建替）＋廃止（既存施設）』を行う。
- 単独で設置されている近隣センター体育館（豊四季台，南部，西原）は、スポーツ施設に『転用』する。
- その他の近隣センターについては、コミュニティ活性化に向けて、多世代交流が可能な施設へと転換し、長寿命化を図るために『改修』を行う。また、沼南近隣センターについては、『改修』により建物の長寿命化を図り、沼南庁舎から市民交流サロンを『複合化（他の施設を受入れ）』する。
- 藤ヶ谷区民会館については、新市建設計画に基づき『移転＋建替＋廃止（既存施設）』を行う。
- 船戸会館，山高野自治会館，前原会館については、『現状のまま存続』し、耐用年数到達年度を目途に、施設の存続や建物の所有について、近隣住民の意見を踏まえて検討を行う。

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
1	旭町近隣センター (1995)	2055	取組		改修	改修	
			延床面積 (㎡)	947.00	947.00	947.00	947.00
			内容	(第2期) ・ コミュニティ活性化に向けて、多世代交流が可能な施設へと転換し、長寿命化を図る。 (第3期) ※第2期計画期間から第3期計画期間の中で改修を想定。			
2	豊四季台近隣センター (1982)	2042	取組	移転+複合化(建替)+廃止(既存施設)	移転+複合化(建替)+廃止(既存施設)		
			延床面積 (㎡)	1,000.93	1,000.93	1,000.93	1,000.93
			内容	(第1期) ・ 豊四季台団地建替に伴うUR都市機構の面整備にあわせて、図書館豊四季台分館、豊四季台児童センター、豊四季台老人 (第2期) いこいの家と合築し、新たな場所に再整備をする。※近隣センター部分は同規模で複合化を想定。			
3	南部近隣センター (1978)	2038	取組	改修(「基本方針編」で定めるモデル事業)			
			延床面積 (㎡)	1,124.25	1,124.25	1,124.25	1,124.25
			内容	(第1期) コミュニティ活性化に向けて、多世代交流が可能な施設へと転換し、長寿命化を図る。			
4	田中近隣センター (1979)	2039	取組	除却(一部)	集約化(建替)		
			延床面積 (㎡)	921.48	921.48	921.48	921.48
			内容	(第1期) ※2017年度に老朽化した自転車置場を除却。 (第2期) 立地適正化計画を踏まえた適地への移転も視野に入れ、当該施設を存続施設として、柏ビレジ近隣センター、北部近隣センターを集約化する。※田中近隣センターと同規模の施設を想定。			
5	西原近隣センター (1978)	2038	取組		移転+建替+廃止(既存施設)		
			延床面積 (㎡)	493.00	493.00	493.00	493.00
			内容	(第2期) 施設規模に比べて駐車場が狭隘であることから、利用者の利便性と利用率の向上を図るため、既存施設よりも広い土地(敷地)に移転をする。			
6	永楽台近隣センター (1979)	2039	取組	改修(+縮小)	改修(+縮小)		
			延床面積 (㎡)	681.49	617.91	617.91	617.91
			内容	(第1期) コミュニティ活性化に向けて、多世代交流が可能な施設へと転換し、長寿命化を図る。 ・ 子施設である児童センター(永楽台児童センター)の拡大に伴い、近隣センター部分の面積は縮小する。 (第2期) ※第1期計画期間から第2期計画期間の中で改修を想定。			
7	布施近隣センター (1979)	2039	取組		集約化(建替)		
			延床面積 (㎡)	1,031.36	1,031.36	1,031.36	1,031.36
			内容	(第2期) 本市のまちづくりを踏まえた適地への移転も視野に入れ、当該施設を存続施設として、根戸近隣センターを集約化する。※布施近隣センターと同規模の施設を想定。			
8	増尾近隣センター (1980)	2040	取組	改修	改修		
			延床面積 (㎡)	963.31	963.31	963.31	963.31
			内容	(第1期) ・ コミュニティ活性化に向けて、多世代交流が可能な施設へと転換し、長寿命化を図る。 (第2期) ※第1期計画期間から第2期計画期間の中で改修を想定。			

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
9	光ヶ丘近隣センター (1981)	2041	取組	改修(＋縮小)	改修(＋縮小)		
			延床面積 (㎡)	1,155.97	1,087.97	1,087.97	1,087.97
			内容	(第1期) コミュニティ活性化に向けて、多世代交流が可能な施設へと転換し、長寿命化を図る。 ・ 子施設である児童センター(光ヶ丘遊戯室)の拡大に伴い、近隣センター部分の面積は縮小する。 (第2期) ※第1期計画期間から第2期計画期間の中で改修を想定。			
10	新富近隣センター (1984)	2044	取組	改修	改修		
			延床面積 (㎡)	981.85	981.85	981.85	981.85
			内容	(第1期) コミュニティ活性化に向けて、多世代交流が可能な施設へと転換し、長寿命化を図る。 (第2期) ※第1期計画期間から第2期計画期間の中で改修を想定。			
11	柏レジ近隣センター (1981)	2041	取組	集約化(建替)＋廃止(既存施設)＋転用	除却＋新設		
			延床面積 (㎡)	399.99	399.99	39.24	39.24
			内容	(第2期) 田中近隣センターに集約化し、近隣センターとしては廃止をする。 テニスコートについては、スポーツ施設として転用を図る。 (第3期) 近隣センターとしては廃止済のため、耐用年数をもって建物を除却する。 テニスコートをスポーツ施設として継続利用するため、新たに管理棟とトイレを整備する。			
12	富里近隣センター (1981)	2041	取組	除却(一部)＋改修	除却(一部)＋改修		
			延床面積 (㎡)	595.57	595.57	595.57	595.57
			内容	(第1期) コミュニティ活性化に向けて、多世代交流が可能な施設へと転換し、長寿命化を図る。 ・ ※2017年度に老朽化した倉庫を除却。 (第2期) ※第1期計画期間から第2期計画期間の中で改修を想定。			
13	高田近隣センター (1986)	2046	取組	改修	改修		
			延床面積 (㎡)	739.78	739.78	739.78	739.78
			内容	(第1期) コミュニティ活性化に向けて、多世代交流が可能な施設へと転換し、長寿命化を図る。 ・ ※第1期計画期間から第2期計画期間の中で改修を想定。			
14	根戸近隣センター (1977)	2037	取組	集約化(建替)＋廃止(既存施設)			
			延床面積 (㎡)	880.66	880.66	0.00	0.00
			内容	(第2期) 布施近隣センターに集約化し、既存施設は廃止をする。			
15	新田原近隣センター (1984)	2044	取組	改修	改修		
			延床面積 (㎡)	649.35	649.35	649.35	649.35
			内容	(第1期) コミュニティ活性化に向けて、多世代交流が可能な施設へと転換し、長寿命化を図る。 (第2期) ※第1期計画期間から第2期計画期間の中で改修を想定。			
16	松葉近隣センター (1987)	2047	取組		改修	改修	
			延床面積 (㎡)	878.61	878.61	878.61	878.61
			内容	(第2期) コミュニティ活性化に向けて、多世代交流が可能な施設へと転換し、長寿命化を図る。 (第3期) ※第2期計画期間から第3期計画期間の中で改修を想定。			

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016~2025)	第2期 (2026~2035)	第3期 (2036~2045)	第4期 (2046~2055)	
17	藤心近隣センター (1987)	2047	取組		改修	改修	
			延床面積 (㎡)	784.39	784.39	784.39	784.39
			内容	(第2期) ・ (第3期) コミュニティ活性化に向けて、多世代交流が可能な施設へと転換し、長寿命化を図る。 ※第2期計画期間から第3期計画期間の中で改修を想定。			
18	北部近隣センター (1989)	2049	取組		集約化(建替)+廃止(既存施設)+転用		
			延床面積 (㎡)	592.39	592.39	592.39	592.39
			内容	(第2期) 田中近隣センターに集約化し、近隣センターとしては廃止をする。既存建物については、複合施設として転用を図り、他の施設が新設や移転をする際の受け皿とする。			
19	酒井根近隣センター (1989)	2049	取組		改修	改修	
			延床面積 (㎡)	755.13	755.13	755.13	755.13
			内容	(第2期) ・ (第3期) コミュニティ活性化に向けて、多世代交流が可能な施設へと転換し、長寿命化を図る。 ※第2期計画期間から第3期計画期間の中で改修を想定。			
20	柏中央近隣センター (1998)	2058	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	1,810.67	1,810.67	1,810.67	1,810.67
			内容				
21	高柳近隣センター (1994)	2054	取組		改修	改修	
			延床面積 (㎡)	867.86	867.86	867.86	867.86
			内容	(第2期) ・ (第3期) コミュニティ活性化に向けて、多世代交流が可能な施設へと転換し、長寿命化を図る。 ※第2期計画期間から第3期計画期間の中で改修を想定。			
22	沼南近隣センター (1981)	2041	取組			改修+複合化(他の施設を受入れ)	
			延床面積 (㎡)	3,536.81	3,536.81	3,536.81	3,536.81
			内容	(第3期) 市民文化会館とアミューズ桝の代替施設として、改修により建物の長寿命化を図る。また、転用可能なスペースに市民交流サロンを複合化する。			
23	手賀近隣センター (2016)	2076	取組	新設			
			延床面積 (㎡)	667.44	667.44	667.44	667.44
			内容	(第1期) ※2017年4月18日に開所。			
24	旭町近隣センター体育室(館) (1995)	2055	取組		改修	改修	
			延床面積 (㎡)	417.00	417.00	417.00	417.00
			内容	(第2期) ・ (第3期) コミュニティ活性化に向けて、多世代交流が可能な施設へと転換し、長寿命化を図る。 ※第2期計画期間から第3期計画期間の中で改修を想定。			

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
25	豊四季台近隣センター体育館 (1996)	2056	取組	転用			
			延床面積 (㎡)	1,012.15	1,012.15	1,012.15	1,012.15
			内容	(第1期) スポーツ施設に転用する。			
26	南部近隣センター体育館 (1993)	2053	取組	転用			
			延床面積 (㎡)	798.12	798.12	798.12	798.12
			内容	(第1期) スポーツ施設に転用する。あわせて、ニーズや利用状況、施設の劣化状況などを踏まえ、今後のあり方を検討する。			
27	田中近隣センター体育室(館) (1979)	2039	取組		集約化(建替)		
			延床面積 (㎡)	405.00	405.00	405.00	405.00
			内容	(第2期) 立地適正化計画を踏まえた適地への移転も視野に入れ、当該施設を存続施設として、北部近隣センター体育室を集約化する。 ※田中近隣センター体育室(館)と同規模の施設を想定。			
28	西原近隣センター体育館 (1987)	2047	取組	転用			廃止+除却
			延床面積 (㎡)	626.65	626.65	626.65	0.00
			内容	(第1期) スポーツ施設に転用する。 (第4期) スポーツ施設としての需要を見据えながら、利用状況などを総合的に判断し、継続して施設の需要が見込まれなければ、耐用年数をもって廃止・除却を行う。			
29	増尾近隣センター体育室(館) (1980)	2040	取組	改修	改修		
			延床面積 (㎡)	386.00	386.00	386.00	386.00
			内容	(第1期) コミュニティ活性化に向けて、多世代交流が可能な施設へと転換し、長寿命化を図る。 (第2期) ※第1期計画期間から第2期計画期間の中で改修を想定。			
30	高田近隣センター体育室(館) (1986)	2046	取組	改修	改修		
			延床面積 (㎡)	369.00	369.00	369.00	369.00
			内容	(第1期) コミュニティ活性化に向けて、多世代交流が可能な施設へと転換し、長寿命化を図る。 (第2期) ※第1期計画期間から第2期計画期間の中で改修を想定。			
31	根戸近隣センター体育室(館) (1977)	2037	取組		移転+集約化+廃止(既存施設)		
			延床面積 (㎡)	417.00	417.00	417.00	417.00
			内容	(第2期) 布施近隣センターと根戸近隣センターの集約先に移転し、布施近隣センター体育室として再整備する。 ※根戸近隣センター体育室(館)と同規模で再整備を想定。			
32	新田原近隣センター体育室(館) (1984)	2044	取組	改修	改修		
			延床面積 (㎡)	400.00	400.00	400.00	400.00
			内容	(第1期) コミュニティ活性化に向けて、多世代交流が可能な施設へと転換し、長寿命化を図る。 (第2期) ※第1期計画期間から第2期計画期間の中で改修を想定。			

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
33	松葉近隣センター体育室(館) (1987)	2047	取組		改修	改修	
			延床面積 (㎡)	416.00	416.00	416.00	416.00
			内容	(第2期) ・ (第3期) コミュニティ活性化に向けて、多世代交流が可能な施設へと転換し、長寿命化を図る。 ※第2期計画期間から第3期計画期間の中で改修を想定。			
34	北部近隣センター体育室(館) (1989)	2049	取組		集約化(建替)+廃止(既存施設)+転用		
			延床面積 (㎡)	415.00	415.00	415.00	415.00
			内容	(第2期) 田中近隣センター体育室に集約化し、近隣センター体育室としては廃止をする。既存建物については、複合施設として転用を図り、他の施設が新設や移転をする際の受け皿とする。			
35	酒井根近隣センター体育室(館) (1989)	2049	取組		改修	改修	
			延床面積 (㎡)	391.00	391.00	391.00	391.00
			内容	(第2期) ・ (第3期) コミュニティ活性化に向けて、多世代交流が可能な施設へと転換し、長寿命化を図る。 ※第2期計画期間から第3期計画期間の中で改修を想定。			
36	藤ヶ谷区民会館 (1970)	2030	取組	移転+建替+廃止(既存施設)			
			延床面積 (㎡)	263.33	263.33	263.33	263.33
			内容	(第1期) 新市建設計画に基づき、新たな場所にエリアの拠点となるコミュニティ施設の再整備を行う。			
37	船戸会館 (1987)	2047	取組				現状のまま存続+その他
			延床面積 (㎡)	267.64	267.64	267.64	267.64
			内容	(第4期) 施設の存続や建物の所有について、近隣住民の意見を踏まえて検討を行う。			
38	山高野自治会館 (1987)	2047	取組				現状のまま存続+その他
			延床面積 (㎡)	274.67	274.67	274.67	274.67
			内容	(第4期) 施設の存続や建物の所有について、近隣住民の意見を踏まえて検討を行う。			
39	前原会館 (1983)	2043	取組	増築		現状のまま存続+その他	
			延床面積 (㎡)	289.40	289.40	289.40	289.40
			内容	(第1期) ※2016年度にトイレを増改築。 (第3期) 施設の存続や建物の所有について、近隣住民の意見を踏まえて検討を行う。			

(2) 文化施設（市民文化会館，アミュゼ柏）

方向性

- 市民文化会館については、利用者の利便性と利用率の向上を図るため、立地適正化計画に基づく適地に『移転+廃止（既存施設）』を行うとともに、小ホール分の面積を『縮小』し、アミュゼ柏と連携を図りながら、大ホールに特化した施設へと転換する。なお、再編に当たっては、広域的な視点を踏まえるとともに『民間施設の活用』も視野に入れた検討を進める。
- アミュゼ柏については、計画的な予防保全を行いながら『現状のまま存続』する。

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016~2025)	第2期 (2026~2035)	第3期 (2036~2045)	第4期 (2046~2055)	
1	柏市民文化会館 (1972)	2032	取組		移転+廃止(既存施設)+縮小		
			延床面積 (㎡)	5,817.72	4,825.02	4,825.02	4,825.02
			内容	2014年に実施した大規模改修による設備機器類が更新の時期を迎える。 (第2期) 費用対効果を考慮し、利用者の利便性と利用率の向上を図るため、立地適正化計画に基づく適地に移転をする。 ※小ホール分の面積縮減を想定。			
2	アミュゼ柏 (1998)	2058	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	3,758.44	3,758.44	3,758.44	3,758.44
			内容				

(3) 交流施設（市民サロン）

方向性

- 市民交流サロンについては、沼南近隣センター内の転用可能なスペースに『(廃止して他の施設と)複合化』する。なお、既存施設の跡地については、当面は庁舎的な利用を想定して『転用』を行い、親施設（沼南庁舎）の建替えにあわせて、当該施設分の面積を『削減』する。

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016~2025)	第2期 (2026~2035)	第3期 (2036~2045)	第4期 (2046~2055)	
1	市民交流サロン (1980)	2040	取組			(廃止して他の施設と)複合化+転用	削減
			延床面積 (㎡)	63.76	63.76	63.76	0.00
			内容	(第3期) 既存施設を廃止し、沼南近隣センター内に複合化する。なお、当該施設の跡地については、当面は庁舎的な利用を想定して活用を図る。 (第4期) 親施設(沼南庁舎)の建替えにあわせて、当該施設分の面積を削減する。			